

今月の推薦句

山田真砂年

口紅の減らぬ暮しや夕焼雲

飛田小馬々

かはほりの街灯過ぎるときに見ゆ

大坪正美

空腹に飴玉一つ麦の秋

小見戸 実

小余綾の磯に踏み出す柚子の忌

滝代文平

刈ればまた育つ夏草一揆の地

沼田布美

籐椅子に沈むや不要不急の身

牧園 賀

梅雨寒やギブスの先の爪黄色

上田信隆

夏の川白きこむらに水かげろふ

國益悦子

亀の子の溺るるやうに進みけり

中村かりん

薰風や明日またねと言へる日は

池田美和

泰山木接写の高さに花ありぬ

浜田優子

付合ひの濃きも淡きも溝浚ふ

岡本秀子

青田風その真ん中の通学路

久保千恵子

夏掛けに替へて眠りの浅きかな

司 まや

夏兆す妻のサラダの作り過ぎ

高原貞夫

身八つ口よぎる風あり阿波踊

今井 基

テレワーケ時に中座や胡瓜もみ

林 恵美子

着地せし光のドームしやぼん玉

大和田美和子

二輪草氷壁の宿へづく道

東 晶

南吹く吾子ひかうきのポーズして

眠る子の吐息かすかに苺の香

菖蒲田や駅アナウンス頻繁に

堀潤子

戸上晶子